



月報

3

# 缶詰問屋

(45.3.7 №39 VOL.4)

## ◆目次◆

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 2月の行事                               | 1  |
| ◇在京規格部会                             | 2  |
| ◇缶詰地区別懇談会                           | 4  |
| ◇蔬菜部会                               | 10 |
| ◇「チクロの入ったかん詰は心配ありません」<br>チラシ88万枚を配布 | 12 |
| ◇チクロ問題、政府答弁書打合せ                     | 18 |
| ◇百貨店協会、チェーンストア協会に販売協力呼びかけ           | 14 |
| ◇朝日女性教室                             | 16 |
| ◇缶詰キャンペーン委員会                        | 17 |
| ◇日缶協・在京規格表示委員会                      | 18 |
| ◇シール配布作業についての打合せ(千葉・東京)             | 19 |
| <b>会 員 消 息</b>                      | 20 |
| <b>関 係 団 体 報 知</b>                  | 22 |

## 全国缶詰問屋協会

Japan Canned Food Wholesalers Association

東京都中央区日本橋通3丁目8番地  
八重洲通ビル7階

電話 東京 (273) 9 2 8 9 番

## 2 月 の 行 事 一 覧 表

| 行 事                  | 月 日   | 時 間          | 場 所            | 出 席                      |
|----------------------|-------|--------------|----------------|--------------------------|
| 在京規格部会               | 2月4日  | 9.30~11.30時  | 北洋商事(株)        | 7名                       |
| シール配布作業打合会<br>(千葉)   | 2月9日  | 13.00~       | 桜井食品(株)        |                          |
| 東部地区筍缶詰懇談会           | 2月10日 | 13.30~15.30時 | 北洋商事(株)        | 全缶協14名<br>関連業者13名        |
| 東京都卸売同業会<br>シール配布打合会 | 2月10日 | 16.00~17.00時 | (株)国分商店        |                          |
| 西部地区筍缶詰懇談会           | 2月13日 | 13.00~15.00時 | 味の素(株)<br>大阪支店 | 全缶協14名<br>関連業者9名         |
| 中部地区筍缶詰懇談会           | 2月14日 | 13.00~15.00時 | ホテルニュー<br>名古屋  | 全缶協9名<br>専業者5名           |
| 蔬 菜 部 会              | 2月24日 | 14.00~16.00時 | 北洋商事(株)        | 20名                      |
| 規格表示委員会<br>在京部会(日缶協) | 2月25日 | 13.30~       | 日魯漁業(株)        | 日缶協側20名<br>橋田部会長<br>北田専務 |
| 缶詰キャンペーン委員会          | 2月27日 | 10.00~13.00時 | 日本缶詰協会         | 原委員長<br>他7名              |

## 3 月 の 行 事 予 定

|                  |       |             |              |  |
|------------------|-------|-------------|--------------|--|
| 山形缶詰協会<br>10周年記念 | 3月5日  |             |              |  |
| 缶詰キャンペーン委員会      | 3月6日  | 13.00~      | 日本缶詰協会       |  |
| 筍缶詰全国大会          | 3月10日 | 13.00~      | ホテル奥道後       |  |
| ジュース委員会(日缶協)     | 3月12日 | 13.00~      | 日本缶詰協会       |  |
| 市販缶詰試売会<br>(東京)  | 3月13日 | 9.30~16.00時 | 公取委会議室       |  |
| 市販缶詰試売会<br>(大阪)  | 3月18日 | 10.00~      | 神戸<br>科学センター |  |

## 在京規格部会

- 日時 昭和45年2月4日 9.30～11.30時
- 場所 北洋商事(株)7階 会議室
- 議題 ① 「サイクラミン酸塩添加」シールに関する件  
② その他

### ※ 討 議 の 概 要

1月27日の日缶協規格表示委員会で「サイクラミン酸塩添加」シールの流通段階における統一シールが決定したがこの部会では日缶協東峰常務理事をオブザーパーに迎え小売店へのシールの配布方法を中心に検討が行なわれた。

#### ① 小売店頭分シールの印刷枚数

小売店頭分のシール1億枚を日本缶詰協会において印刷し、その配布については全缶協が当たる。

#### ② シール配布方法

先に実施した全国小売店を対象とした署名運動の方式により、各県の同業会組織に県内の配布を委ね、同業会組織のない県は、窓口店に依頼し県内のとりまとめを願う。

#### ③ 在庫品のシールについて

自己ブランドの製品はメーカー、問屋それぞれがシールを負担し、現時点で在庫しているところが貼付作業を担当する。

#### ④ シール配布に伴う帯封について、全国小売店総数より按分し35万枚の帯封を印刷したが、これは小売店にシールを貼ってもらうための口上書きといったもので、シールとともに同時に発送することになった。

#### ⑤ 問屋手印ブランドのシール印刷について

問屋手印ブランドのシール印刷については、全缶協が窓口となり印刷会社へ  
斡旋を行なう。シールは単価10銭。

以上の方針を決定し2月15日到着を目標に作業を進めることになった。

## 〔小売店向シール 配布要領〕

### 1. 貼付対象

問屋ブランド、メーカーブランドのいずれを問わず「合成甘味料添加」と表示してある缶詰に限り、見易い場所に「サイクラミン酸塩添加」の統一シールを貼る。

### 2. 施行期日

3月1日より施行のため貼付作業はその前日に必ず完了のこと。

### 3. シールの配布対象

全国の小売店

### 4. シール印刷経費

基準1億枚とし印刷費用は日本缶詰協会で負担。

### 5. シール仕様

字 体 8ポ 角中ゴチ ベタ打

サ イ ズ 天地 8mm 左右 35mm

仕上りサイズ 天地 105mm 左右 288mm

仕上り面数 96面付(8打組。2打単位にミシン入り)

### 6. 配布方法

食料統計による地区別小売店数を基準とし枚数配分し、地区の食品卸同業会  
(問屋連盟)又は全缶協会員の地区代表店に委ねる。

なお会員に次の文書を送付し主旨の徹底を図った。

庶 発 第 2 0 4 号

昭和 4 5 年 2 月 9 日

会 員 各 位

全 国 缶 詰 問 屋 協 会

「サイクラミン酸塩添加」のシール についてお知らせ

拝啓 ますますご隆昌にてお慶び申し上げます。

さて、チクロ使用の缶詰につきましては3月1日から「サイクラミン酸塩添加」のシール を貼つて販売することになりましたが、このたびすでに小売店に出回っている缶詰に限つて、日本缶詰協会の負担により一括してシール 印刷を行ない、来る2月15日までは貴県割当枚数分が別紙配布窓口店宛に直送されることになっております。

その割当数の配布方法等につきましては、それぞれの地区の食品卸同業会（問屋連盟）又は全缶協会員の地区代表店にてお世話願うようご依頼申しあげましたので貴台におかれましては貴県配布窓口店にお問合せ下さりこの分の小売店へのシール 貼付にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお卸店のストック分に対するシール は各自にて調達するかバツカーあるいは発売元と打ち合せのうえお取り運びの程念のため申添えます。

敬 具

## 筍 缶 詰 地 区 別 懇 談 会

〔東部地区〕 2月10日 北洋商事㈱

〔西部地区〕 2月13日 味の素(株)大阪支店

〔中部地区〕 2月14日 ホテル ニュー名古屋

議 題

- ① 筍缶詰の在庫状況について
- ② 昨年度筍缶詰製造および販売の反省事項について
- ③ 新物筍の作柄ならびに缶詰生産見通しについて
- ④ 輸入筍缶詰の状況と見通しについて
- ⑤ 筍製造期の野菜の見通しについて
- ⑥ 新物筍缶詰の受入体制について

☆

☆

☆

〔東部地区筍罐詰懇談会〕

1. 筍缶詰の在庫状況について

昨年の生産数量(240万本)の2割5分～3割程度は残っており、在庫数量は全国で70～75万本程度とみられる。青果関係(京浜地区)13万、問屋(京浜地区大口需要者を含む)10万、パツカー在庫10万。

ことしは案外潜在在庫があり、特殊な層がかなり持つている。今後の消化については現在の価格を維持して売るならば20万本の消化がせいぜいであろうとの意見あり。

2. 昨年度筍缶詰製造および販売の反省事項について

- ① 品質のバラつきが目立ち、工場能力以上の増産態勢に入つたため処理遅れがかなり出ており、この面を嚴重に警告されたい。
- ② JASの規格が甘かつた。JASマークを付ける以上はへたまで徹底してやつてもらいたい。また消費者ベースの価格を打ち出してもらいたいとの青果筋から希望が出されことしは青果独自の値段を出す考えであるとの

意向が述べられた。

- (2) 在庫の殆んどは L、L Lクラスでありこれは価格の面から台湾産に圧迫されたことが原因。

### 3. 新物筍の作柄ならびに生産見通しについて

まだ詳細な情報は入っていないが減産、早ばつにより遅れが目立っている。ことしは昨年比 8 割位、産地によつては 5 割減との声もあつた。

しかし 2 月 6 日熊本経済連主催で開いた会議の席上、京都大学上田教授の発言では筍の地下茎は 6～1 2 月に発育し、なかでも 7～8 月頃が発達する。ことしは早ばつであつたが、十分に育っている。

ただ発生の時期が遅れようとの見方であつたといわれる。

ことし九州は表作、四国は裏作にあたる。九州は昨年 7.2 2 0 トン、ことしは 7.0 0 0 トンで余り差がないが遅れることは確実のようであり、量的には若干下回ると予想される。昨日生の初荷があり、例年に比べ 2 週間遅れている。

### 4. 輸入筍缶詰の状況と見通しについて

台湾の生産時期は、国内の状況が判明してから生産期に入る。

昨年の輸入実績は 7 0 万函（5 G 缶 6 割、丸缶 4 割）昨年は 5 G 缶の製造意欲が強かつたが、現在 1, 4 0 0～1, 5 0 0 円で横ばい。1号缶は強含み堅調に推移。

ことしの見通しとしては昨年輸入商社筋は妙味がなかつたとし特に 5 G 缶の輸入でアウト缶の発生をどうするか。コンテナ輸送で改善されたといつても依然この問題が残されている。

以上のような問題点はあるにしても相当量が輸入されよう。但し数量的には国内の状況によつて大分様子が変わってくる。

なお昨年は緑竹の輸入の増加が目立つた。

## 5. 筍製造期の野菜の見通しについて

早ばつ、寒冷で野菜はすべて昨年の暮から高騰し、このまま3～4月まで堅調に推移するものと見られる。

## 6. 新物筍缶詰の受入体制について

太物を中心に在庫がある。これは台湾産との競合によるものであり価格をこれに見合ったものになければ消費面は困難。(1,700円が限界)。

できるだけスノ物は生で出荷すべきだとの見解もあつた。ことしは潜在在庫もかなりあり原料の出遅れが予想されているところから慎重な生産が要請される。

## 7. その他

筍缶詰は非常に規格が多すぎる。これから人手不足がますます深刻になってくるし、スノ物は台湾産との対抗策を研究しなければならない。

特に筍の大きいものはできるだけ人手をかけずに処理すべきであるとの意見もあつた。

なおことしすぐの実現することは困難としてもまずことしの位コストダウンできるか検討してみようということになつた。

# [ 西部地区筍罐詰懇談会 ]

## 1. 在庫状況

東部地区の覓方と同じく70～75万本を推定する向きもあつたが、昨年の国内生産290万本、輸入110万本、計400万本が出回つたところから見て国内もので100万本、輸入もの20万本、計120万本は在庫されているという声もあつた。

在庫されているもののうち現在L、LLが目立ち、丸缶では1号缶が残っている。



## 2. 昨年度の生産について

前年度生産は280万～290万本と見られる。

## 3. 作柄状況について

近畿地区は土入れの最中だが、根つきは去年の半分位といわれる。

高知、香川地区は7分作。

蕨の色は全般的によくなく、作柄は6～7割といったところか。

## 4. 輸入筍缶詰について

44年1月から11月までの通関実績は次の通り。

|     | 輸 入 量    | 1号6缶換算     |
|-----|----------|------------|
| 台 湾 | 11,798トン | 1,092,386函 |
| 中 共 | 519 "    | 48,120 "   |
|     | 12,317トン | 1,140,506函 |

ことしから台湾の5缶も輸出規格が設けられるもよう。

## 5. 野菜の見通し

米作転換で野菜は春以降暴落と見る向きもあつた。

## 6. 末端市場の動きについて

消化は平均して売れているが、MA 4,000円、ツツ 2,300円、

C～LL 2,600円、C～L 2,800円、T～SS 4,500円唱え。

はかり売りでは筒、C～LLで100g 30円、C～L 35円、BM

40円、T 50円といったところ。

在庫については楽観しているとのこと。

## 〔ま と め〕

① 現在スソもの多く、この点で新物は価格面の操作が必要である。

② クレームが多く出たが、品質の向上が要請される。

- ③ 輸入ものは決しておざなりにできない。また日本の筍の値上がりの傾向を調整するのは輸入品である。

## 〔 中部地区筍罐詰懇談会 〕

### 1. 在庫状況

中京地区における内地ものの在庫は丸缶を含め約8万缶と見られ、輸入ものは丸缶もの1万函弱、5G缶約1万函程度ストックされているとして中京全域では合計10万缶前後の在庫(L、LL級)を予想する。

### 2. 昨年度の製造および反省事項

昨年度の製造時点では200万缶前後の推測であつたがおそらく280～300万本は生産されたのではないかと見られる。

反省事項としては、品質がまちまちで、それが入荷後相当期間経過して判明するといつたものが多かつた。

また大会開催時において標準価格のものを話し合つたが、それが昨年度は最低価格となつた。従つて最低価格の発表の仕方は慎重にやる必要がある。

### 3. 作柄と生産見通し

昨年が豊作だつたので全般的にはウラ作年。寒気きびしく、芽の育ちはあまり振わない。

状態判断としては太もの筍は少なく小さいものが多くなる。収穫量は全国的に見て激減しよう。生産意欲は旺盛であり、本年あたりはあまり選別もしないで5G缶に仮詰で4月一杯出荷するという気配もうかがえる。

### 4. 輸入筍缶詰について

1～11月の通関実績(西部地区資料参照のこと)は43年ものと、44年産ものがあり、台湾は7月から輸出されるので従つて43年ものが多い。台湾産は前期5～6～7月20%。中期7～8月50%。後期9～10月(場合により11月)30%の生産割合いとみられるが、本年は前年台風

により蔽がいためられ減産見通しといわれる。輸入量も昨年度ほどには入荷しないのではないかという見方がある。

#### 5. 野菜の見通しについて

その他蔬菜類はその地区の状況に応じて作付するたてまえとなつているが、各県とも指導方針が建て難く、作柄状況は詳らかでない。

しかし筍の出回り期間中に野菜がふえることは考えられないという見方であつた。

なお野菜の市場価格は現時点から見るなら下降線をたどらうとの意見である。

#### 6. 受入れ体制について

現在々庫されているものは格差をつけなければ売れることは困難である。

またJASは品質面でチェックする材料になり、これを取引の条件の中に加えるべきではないかの声あり。

## 蔬 菜 部 会

---

日 時 昭和45年2月24日 14.00～16.00時

場 所 北洋商事(株) 7階会議室

議 題 1. 地区別筍缶詰懇談会の経過報告

(イ) 東部懇談会

(ロ) 西部懇談会

(ハ) 中部懇談会

2. 新物筍缶詰に関する件

3. 筍缶詰全国大会に関する件

4. そ の 他

## ※ 部会討議の概要

この部会は3地区での筒缶詰懇談会の結果をもとに全缶協としての新物筒缶詰に対する考え方とその要望事項を中心に検討された。

### 1. 昨年度生産数量について

昨年度生産数量について製缶筋、関係団体の調査等を基礎に検討が行なわれ一つの見方として次のような数量がまとめられた。

|      |        |
|------|--------|
| 5 G缶 | 250万本  |
| 9 L缶 | 4万1千本  |
| 丸缶   | 21万8千函 |

### 2. 新物筒罐詰について

新物筒缶詰に対処するため、次の要望事項をまとめた。

- ① 筒缶詰のJASを普及させるため、JAS規格内での簡素化を図る。  
生販両者で規格簡素化委員会を設立し来年度の準備をいまからしておく。  
またJAS普及のための方法を検討する。
- ② 昨年は品質のクレームが多く発生した。ことしは品質管理を厳重にするよう強く要望する。
- ③ 太物が中心に在庫があり、これは上物との価格差、台湾産と競合してその価格差により売れ残つたものであり、太物は台湾産と見合つた価格にしない限り、太物の消化は困難である。
- ④ 5 G缶に使用する紐はビニールの紐に統一し等級は紐の色で分けされたい。

### 3. 筒罐詰全国大会について

缶詰全国大会は3月10日13.00時から愛媛県松山市ホテル奥道後で開催されるが、この前10.00時から日缶協缶詰委員会が開かれる。

ことしは儀礼的な会長、理事長の挨拶は抜きにして討議を重点におき議事を進める方針であり、全缶協は次の各氏が発言を担当することになった。

|                  |          |
|------------------|----------|
| 總括的事項について        | 大橋 部 会 長 |
| 台湾産缶詰の状況について     | 北村 伝 司 氏 |
| JAS、品質面について      | 広 田 正 氏  |
| 包装資材、5g缶の巻締缶について | 萩原 弥 重 氏 |

## 「チクロの入ったかん詰は心配ありません」

### チラシ 33万枚を配布

全国の小売店を対象に合成甘味料添加の缶詰を販売促進させる意味から、全缶協はシール配布と同じ方法で全国に33万枚を配布した。チラシはB5版クリーム色でまずアメリカの動物実験を人間にあてはめ常識では考えられないチクロの量を判り易く図解したうえ次のような説明がなされているもの。

○チクロ禁止のきつかけとなつたアメリカのネズミによる実験を、人間（体重60キロ）にあてはめてみますと、1人1日150グラムのチクロを2年間つづけて毎日食べさせたものには、一部に害がみられたが、1人1日60グラムのものには、まったく異常がなかつたということになります。

○ところで、かん詰（合成甘味料添加品）に含まれるチクロの量は、1かん（4号かん）当り0.3グラムです。これにくらべて、ネズミの実験で、一部に害があつたもの（150グラム）、は500倍、まったく異常が

なかつたもの(60グラム)は200倍に当ります。

- このように、かん詰にふくまれるチクロはごくわずかであり、また大量につづけて食べるものではありませんから、国民の保健の面でさしさわりが無いということで、ひきつづき販売することがみとめられました。
- 合成甘味料添加品は、昨年11月以前につくられた製品の一部に限られています。これらは3月1日から「サイクラミン酸塩添加」のシールを貼ることになります。
- アメリカでも、季節的につくられるチクロを含んだかん詰などについては、ひきつづき販売できるようになっています。

昭和45年3月

全 国 缶 詰 問 屋 協 会  
東京都中央区日本橋通3丁目8番地

## 横山代議士へのチクロ問題政府答弁書について 加工食品全国団体連絡協議会で打合せ

---

日 時 昭和45年2月28日 10:00～13:00時  
場 所 ビスケット会館  
議 題 チクロ問題に関する政府答弁書について  
出 席 15団体。

☆ ☆ ☆

去る2月13日、衆議院議員横山利秋氏(愛知一区・社会党)はチクロ問題に

ついて衆議院議長に質問趣意書を提出したが、これに対し2月20日付で内閣総理大臣より衆議院議長に答弁書が送付された。

しかしこの答弁書の内容では、答弁の意が尽されておらず、3月5日の商工委員会で横山代議士自から政府行政の追求を行なうことになっている。

そこで食品加工全国団体連絡協議会では来る3月8日、同代議士を第1議員会館に訪ね、さらに食品業界の不满とするところを訴えるべく、この日の打合せとなつたもの。

打合せの結果 ①食品衛生法の基本的問題とテクロ毒性について、②禁止の時点における官庁間の協議の有無、③回収、廃棄の場所、方法、ならびに損害について、④政府責任と損害補償、⑤一部食品の延期理由、以上5項目を中心に横山代議士に追求してもらうことになつた。

## 百貨店協会、チェーンストア協会に 販売協力呼びかけ

日缶協隅野専務理事、全缶協北田専務理事は2月19日、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会を訪ずれ「サイクラミン酸塩添加」のシールを貼つた缶詰は8月以降も引き続き販売できることになつた旨伝えるとともに両協会に対し販売協力の呼びかけを行なつた。

昭和45年2月16日

日本百貨店協会  
日本チェーンストア協会 殿

日本缶詰協会  
全国缶詰問屋協会

サイクラミン酸塩(チクロ)添加のかん・びん詰の販売  
についてご協力お願いのこと

拝啓 いよいよご清栄のことおよび申し上げます。日頃は食品、かん  
びん詰の販売について格別のご協力をいただき感謝申し上げております。  
さて、チクロ添加のかん・びん詰については、種々ご心配をおかけ致して  
おりましたところ

昭和45年2月28日までの販売猶予期間が

昭和45年9月30日まで延期されました。

つきましては、昨年11月5日以前の製品中、この合成甘味料添加品は、  
来る3月1日より「サイクラミン酸塩添加」のシールを貼布し、「消  
費者が自由に選択できるようにする」(厚生省指示)との趣旨に従つて、  
ひきつづき販売させていただくことになりました。

なお、このサイクラミン酸塩については、当局は「安全性に疑問を生じた  
結果、指定食品添加物としての指定品目を取り消された添加物(註 この  
場合はチクロ)であつても、それを摂取することによつて直ちに障害を生  
ずるものでは決してない。」と厚生省の見解を公表してかん・びん詰類の  
販売猶予期間の延長となつた次第であります。

一方米国の厚生長官も「われわれは現時点において、チクロが人間にガン  
を発生させるという証拠を持つてゐるのではないことを強調したい」と述  
べております。

従いましてわが国もアメリカも同様かん・びん詰の販売については、「国  
民保健の面で支障がない」との結論の下に緩和措置がとられたのでありま  
す。即ち今日まで問題の発端の米政府当局又日本の当局共々その見解な  
らびに指導の意図はこのような経過の下になされてまいつたことをご高承  
いたさたくお願い申し上げます。

さてわれわれは只今業界が持つ製品をあげてこの期間に本来予定しており



ました販売ルートの下で極力消化に努めたいと存じまして流通段階各位にご協力を懇請申し上げておりますが特に権威ある貴協会会員各社のご動向いかに大勢の帰趨を決するとも申せますので日頃のご厚誼に併せてこの際絶大なご支援を相仰ぎ申したく何分のご垂仁幾重にもお願い申し上げます。

なおすでに当局指示の8月1日より当該品に添付すべき<sup>■</sup>サイクラミン酸塩添加<sup>■</sup>なるシールの準備も全国的に手配完了致し、消費者が自由に選択ができる体制になりましたので従来同様納入業者へのご用命賜わり全業界の所期にご協力のほど何分共よろしくお願い申し上げます。

まずは当用まで貴意を得申したくなお引続き弊業界とのご厚誼幾重にもお願いあげます。

敬 具

## 朝 日 女 性 教 室

佐詰キャンペーンの一環として実施中の朝日女性教室2月日程は、13日鴨川小学校、16日 日野市日野社会教育センター、17日町田市公団山崎団地、19日前橋市の野沢ストア一、20日前橋市芳賀公民館（阿江、北田キャンペーン委員出席）で行なわれたが、引き続き3月度の女性教室が次の日程で実施されることになった。

なお昨年8月以来継続されたこの催しも一応3月をもつて終了する。

| 月日          | 会 場  | 1:00~2:00                         | 2:00~3:00                      |
|-------------|--|-----------------------------------|--------------------------------|
| 3/9<br>(月)  | 島田市稲荷町<br>第一中学校<br>(05473-7-2513)              | 思春期の健康<br>村松博雄<br>(医事評論家)         | 手がるにできるおやつ<br>速藤きよ子<br>(料理研究家) |
| 3/10<br>(火) | 塩山市上栗生野492<br>大藤小学校<br>(055333-2116)           | 暮らしの中のたのしみ<br>荻昌弘<br>(映画評論家)      | .                              |
| 3/12<br>(木) | 富士吉田市下吉田<br>中央通り<br>都留信用組合ホール<br>(0555-2-2181) | 体操のつくる魅力<br>紅林武男<br>(体操家)         | .                              |
| 3/13<br>(金) | 高崎市倉賀野仲町<br>倉賀野公民館<br>(0273-46-2214)           | マスコミ時代の<br>家庭づくり<br>上坂冬子<br>(評論家) | .                              |

## 缶詰キャンペーン委員会

日 時 昭和45年2月27日 1000~1200時

場 所 日本缶詰協会 会議室

議 題 缶詰キャンペーンについて

- ① 経過報告
- ② 今後の計画

出席 原委員長、中山副委員長、隅野、阿江、北田、納富、村井の各氏。

☆ ☆ ☆

この委員会では、44年度予算の残額の使途とも関連し、全缶協が終始強力に提案し続けているテクロ対策に伴う積極的PR作戦の展開。すなわち、日刊紙ならびに業界紙への広告、小売店へのチラシの配布、さらに新たな提案として缶詰の販売促進のための消費者向け缶切り無料配布などを中心に話し合いがなされた。しかし日刊紙、業界紙広告は経費、時期、その方法等の問題で取りあげられないこととなり、缶切り配布については保留となつた。

なおテクロについて小売店向啓蒙用チラシはすでに全缶協において33万枚分を配布完了したが、このチラシをさらにダイレクトメールで啓蒙のおいうちをかけてはどうかとの原委員長よりの提案があつた。

## 日缶協・在京規格表示委員会

日時 昭和45年3月25日 13.30～15.00時

場所 日魯漁業 8階 大会議室

議題 魚類缶詰の全糖表示について

出席 谷委員長外、日缶協側20名

全缶協側 橋田規格部会長、北田専務理事。

☆ ☆ ☆

合成甘味料添加と表示してある魚類の印刷空缶に砂糖を使った製品を詰めた場合、砂糖を使用した旨表示してよいかの問題については販売面で混乱するおそれがあるとして業界申合せではこれを表示しないことになつていたが、その後消費者からシールをはがして見て合成甘味料だつたという苦情がもちこまれ、砂糖を使用したものならなぜ無字のシールでなくその旨表示しないかといつた

問合せがあり、この際砂糖使用の表示が出来るよう改められないかと提案があった。

しかし、流通段階では砂糖使用と表示したのも同様のトラブルが起きており、意見交換の結果、従来通りの方針をくづさず公正競争規約の原則によることとし、もし必要ある場合は個々にチラシ等を用いて消費者の疑いを解くよう努力することになった。

なおチクロ禁止措置以降の缶詰製品には外函に新マークを印すことになっていたが、この外函に砂糖使用の旨表示することも不可とされ、それぞれ任意の目印により区別するなどが話われた。

## シール配布作業についての 打合会（千葉・東京）

---

千葉県内小売店へのシール配布作業についての打合会は、県内の全缶協会員店6社、北田専務理事が出席し2月9日13.30時から桜井食品株式会社会議室（千葉市問屋町）で行なわれた。その結果会員店6社均等割により県内小売店へシールを配布することになった。

また東京都内における小売店へのシール配布作業については、全缶協から東京都食品卸同業会に一括依頼することになったが、この配布作業について同業会では2月10日16.00時から、協国分商店会議室で、幹部、支部長が集り、全缶協から北田専務理事が出席して打合会を開催。協議の結果会員の平等割 $\frac{2}{3}$ 残りの $\frac{1}{3}$ を本部保留とし、必要に応じて配布するとの基本方針を決め、それぞれ6支部長宛に一括送付することになった。

# 会 員 消 息

## 〔 会 社 人 事 〕

※株式会社祭原では2月、役員の一部異動補充を行ない、併せて役員を担当業務を決定した。

|                   |            |
|-------------------|------------|
| 取締役社長             | 祭原次郎氏      |
| 専務取締役             | 森際幸夫氏      |
| 常務取締役             | 中川和雄氏      |
| 取締役 総務部長          | 中田武彦氏      |
| 取締役 営業部長          | 中井祥郷氏（新任）  |
| 取締役 福岡支店長         | 武藤芳三氏      |
| 取締役 SFC本部<br>事務局長 | 宮軒治兵衛氏     |
| 取締役 財務部次長         | 多田史郎氏（新任）  |
| 取締役               | 富田健治氏（非常勤） |
| 取締役               | 浜口祐三氏（非常勤） |
| 取締役               | 祭原貞子氏（非常勤） |
| 取締役               | 正木和夫氏（非常勤） |
| 常任監査役             | 吉岡藤吉氏      |

※北洋商事株式会社では、2月25日の定時株主總會および取締役会において次の役員が選任され就任した。

|               |                |
|---------------|----------------|
| 取締役会長         | 高橋 睿氏（前取締役相談役） |
| 取締役社長（代表取締役）  | 浅井二郎氏          |
| 取締役副社長（代表取締役） | 和氣正夫氏          |

|                  |                |
|------------------|----------------|
| 常務取締役(販売担当)      | 竹崎 知美氏         |
| 常務取締役(總務・經理)     | 慶田 勇吉氏         |
| 常務取締役(名古屋支社長)    | 依田 寿夫氏(前取締役)   |
| 常務取締役(本社販売第二部担当) | 田川 博達氏(前取締役)   |
| 取締役(本總務部長)       | 武衛 穰介氏         |
| 取締役(名古屋支社第一部長)   | 黒田 起生氏         |
| 取締役(名古屋支社商品管理部長) | 山田 皎市氏         |
| 取締役(名古屋支社経理部長)   | 飯塚 武則氏         |
| 取締役(本社販売第一部長)    | 加藤 栄一郎氏        |
| 取締役(本商品部長)       | 広田 正氏(新任)      |
| 取締役              | 野田 喜三郎氏        |
| 取締役              | 角田 昇氏          |
| 監査役              | 福田 寛人氏(前常務取締役) |
| 監査役              | 緒方 季三郎氏        |
| 監査役              | 岡本 茂和氏(新任)     |

## 〔住所変更〕

※合資会社八百三商店(代表社員高橋栄和)は、3月1日から住居表示の実施により下記の通り変更となる。

新住所 船橋市本町4丁目35番13号

## 〔電話番号変更〕

※東京丸一商事(株)関西支店(神戸市葺合区小野柄通8-1三宮ビル)の電話番号

は2月20日より下記の通り変更となつた。

電話 神戸(078)25局1521番(代表)

## 関 係 団 体 報 知

### 〔 電 話 番 号 変 更 〕

※社団法人山形県缶詰協会（山形市旅籠町1丁目8の13）の電話番号は3月1日から下記に変更される。市外局番（0286）

新番号 22局 6088（代表）

